11/1 まちなかでトリック オア トリート しもだてハロウィンフェスティバル 2026 ×さくらハロウィンフェスティバル



下館駅北口周辺でしもだてハロウィンフェスティバル 2026、下館駅南口周辺でさくらハロウィンフェスティバルが開催され、まちなかがハロウィン一色になりました。2016年に始まったしもだてハロウィンフェスティバルは、惜しまれながらも今年で幕を閉じます。最後は大勢の子どもたちの笑顔に囲まれてのフィナーレを迎えました。さくらハロウィンフェスティバルではステージ発表や飲食店の出店などがあり、来場者が一日をとおして楽しめるイベントになりました。



10/18 二宮尊徳ゆかりの地 北海道豊頃町が特産品を PR



豊頃町フェアが道の駅グランテラス筑西で開催され、訪れた人は北海道の豊かな恵みを堪能しました。本市と豊頃町（按田武町長）とは二宮尊徳ゆかりの地というつながりにより、「互産互生（ごさんごしょう）」の取り組みを展開しております。

10/27 ㈱サイネックスと 筑西市くらしの便利帳協定締結



市と株式会社サイネックス（村田吉優代表取締役社長）は、筑西市くらしの便利帳の共同発行に関する協定を締結しました。今後、市の窓口業務や施設の利用案内などの行政情報や地域の魅力をまとめた便利帳を、官民共同で発行します。広告掲載により市の負担ゼロで発行し、市内全世帯へ戸別配布することで、市民、転入者の住民サービスや利便性の向上、ならびに市内経済活動の活性化を図ります。

10/28 筑西市で見る年２回の絶景 ダブルダイヤモンド筑波



例年、見る人を魅了する「ダイヤモンド筑波」。今回もこの絶景を一目見ようと、早朝から多くの人が集まりました。筑波山の頂上から太陽が上り始めると、静寂の中でカメラマンのシャッターを切る音が鳴り響きました。

10/31 明治・大正・昭和に思いをはせる 荒川家住宅（荒七）一般公開



国登録有形文化財に指定されている荒川家住宅の一部が一般公開され、訪れた人は歴史情緒あふれる建物の探索を楽しみました。店蔵には貴重な昭和時代の道具類や建物の模型を展示しており、当日はボランティアガイドの案内に、参加者は熱心に耳を傾けました。

11/1 市民を公式戦に招待 筑西市 PR デー







アダストリアみとアリーナで行われたプロバスケットボールチーム「茨城ロボッツ」の公式戦会場に筑西市の PR ブースを出展しました。本市が招待した市民の中から、触れ合いイベントに選ばれた子どもたちが、選手と直接触れ合い、茨城ロボッツとの交流が深まりました。

11/1 安齋肇さん×かせきさいだぁさん トークイベント開催





しもだて美術館で開催中の「9（きゅー）・引力 ～新たなるコレクション、ぜんぶ魅せます～」で作品を展示する安齋肇（あんざいはじめ）さんがヒップホップアーティストのかせきさいだぁさんと過去の展覧会の苦労話など本市での思い出を振り返りました。滞在しながら作品を制作した裏話も語られ、会場は大いに盛り上がりました。

11/7 初めての体験に大興奮 親子で楽しい鮎まつり初開催





鬼怒小貝漁業協同組合（藤澤和成（ふじさわかずしげ）組合長）が親子で楽しめる鮎まつりを開催しました。当日はニジマスのつかみ取りなど、直接魚に触れることができ、子どもたちは大興奮。鮎の塩焼きも振る舞われ「焼きたてが美味しい」と笑みがこぼれていました。

11/8 協働のまちづくりフェスタ2026 食べて、遊んで、つながって





市民と行政が力を合わせて進める「協働のまちづくり」の一環として、アルテリオで協働のまちづくりフェスタ 2026 が開催されました。市民団体による活動紹介ブースやワークショップ体験、物販・飲食ブースなど、幅広い世代が楽しみながら交流を深めました。

橋の愛称が決定しました



【問】道路維持課（本庁３階）
☎２０－１１７４

詳しくはこちら

４月に募集を開始した橋の愛称が、市内 37 か所で決定しました。それぞれの橋の愛称・位置は市 Web サイトから確認することができます。ぜひ、現地に行って銘板を見てください。



◀釈迦力（シャカリキ）龍之介（リューノスケ）橋を命名した豊田（とよだ）さん夫婦と実物の銘板

釈迦力 龍之介橋の命名者にインタビュー

Q. 命名の由来を教えてください

A. 妻と息子が通っているキックボクシングジムのプロ選手を応援したい気持ちで応募しました。この応援がチャンピオンになるための懸け橋になればと思います。

Q. 出来栄えはどうですか

A. 実物を見て、橋に名前が付いたことに改めて驚きました。母子島遊水地の近くということでデザインを選びましたが、しっかりしたプレートで非常に満足な仕上がりです。

check！



▲デザインは６種設置されています

10/23 全国大会で活躍 強豪相手に奮闘



全国大会で優秀な成績を収めたあけの Challenge スポーツ少年団が市長を表敬訪問しました。強豪相手に戦った経験を話し、次の目標に向けての決意を新たにしました。

総務大臣表彰の受章
筑西市等公平委員会委員としての尽力に総務大臣から表彰

星野（ほしの） 雅孝（まさたか） さん（向上野）



「振り返ると、職務を全うすることができた 13 年間は、先輩など周囲の人に支えていただけたからだと感じます。支えてくれたみなさんに深く感謝いたします。今後も自己研鑽（けんさん）を続けながら、みなさんのお役に立てればと思います」。

仁平（にへい） 立夫（たつお） さん（門井）

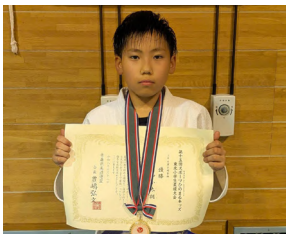


「これまで 10 年間公平委員としての役目を果たしてきました。変化の激しい社会環境のなか、常に市民のみなさんの希望要望に応えていく行政サービス業務や公平公正な立場での役目を理解しつつ、お手伝いをしていきたいと思います」。

スポーツ Sports News

ウタマロ Presents 第 15 回スポーツひのまるキッズ東北小学生柔道大会

7 月 12 日　青森県武道館



【男子軽量級】優勝
中山　小太朗（関城東小 5 年）

全日本卓球選手権大会カデットの部（中学 2 年以下）茨城県大会

9 月 5 日・6 日
ザ・ヒロサワ・シティ体育館



【女子ダブルス】優勝
百木田　愛心（下館南中 2 年）
飯島　詩乃　（結城市）

第 28 回北関東ドッジボール選手権大会（男女混合の部）

9 月 22 日
アダストリアみとアリーナ（水戸市）



【男女混合の部】優勝
Genesis　D.C

Vol.18 えみコラム

市長コラム



Think globally, Act locally ～地球規模で考え、地元から行動する～

一着の服から始まる、世界とのつながり

みなさんは「フェアトレード」という言葉を知っていますか。

発展途上国（※）の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、現地の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「公平な取引」の仕組みを意味する言葉で、児童労働の防止やジェンダー平等など、社会課題と深く絡み合っています。この社会課題を解決しようと世界で 145 か国、3 万 7,000 点以上の国際フェアトレード認証製品が流通し、多くの企業や団体がこの取り組みに賛同しています。

※発展途上国とは先進国と比較して経済水準や発展段階が低い国々

私が普段着ている服の中にもフェアトレードの製品があり、袖を通すたびに、遠い国でこの服を作ってくれた人の笑顔に思いを馳せています。

特別なことをする必要はありません。「買い物」という日常の選択を変えるだけで、私たちは世界が抱える課題の解決に貢献できるのです。

現在、道の駅グランテラス筑西でケニアのフェアトレード製品に触れることができます。ぜひ、直接手に取って、身近に感じてみてください。



フェアトレードの服を着用する設楽市長